

令和6年度 英語 <1年> シラバス（年間学習計画）

1 学習の目標（平成29年告示 学習指導要領 第2章 第9節 外国語 [英語] より抜粋）

- (1) 聞くこと
はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。（～200語程度）
- (2) 読むこと
日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。
- (3) 話すこと [やり取り]
関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。
- (4) 話すこと [発表]
関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。
- (5) 書くこと
関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。（～40語程度）

2 学習の内容

学期	単元名	項目名	主な到達目標（おおむね満足できる規準:B） ①:知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度
1	Unit 0	Welcome to Junior High School 小学校のふり返り	① 小学校で学習したことを確実に理解し、あいさつや好きなものを伝え合ったり、アルファベットの文字を聞いて音がわかり、声に出して読んだりする技能を身に付けることができる。 ② 初対面の相手と知り合うために、小学校で習った英語表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 ③ 初対面の相手と互いに伝え合ったり、アルファベットの音を聞いて文字を予測したり、声に出して単語を読むことなどに意欲的に取り組むことができる。
	Unit 1	New School, New Friends 中学校生活の始まり	① be 動詞と一般動詞、助動詞 can を用いた文の形・意味・用法を理解をもとに、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 ② 互いをよく知るために、名前や出身地、好きなことなどについて即興でたずねたり答えたりできる。 ③ 互いをよく知るために、名前や出身地、好きなことなどについて即興でのコミュニケーションに取り組むことができる。
	Unit 2	Our New Teacher ALT のクック先生	① This, (That, He, She) is ～, 疑問詞 what や who, how を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 ② 互いをよく知るために、身近な人・物、普段の行動などについて、簡単な語句や文を用いて情報を即興で話したり、たずね合ったりできる。 ③ 互いをよく知るために、簡単な語句や文を用いて即興でのコミュニケーションに取り組むことができる。
	Unit 3	Club Activities 部活動	① 疑問詞 where や when, I want to ～, How many ～? などの理解をもとに、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 ② 互いをよく知るために、場所や日時や持ち物、希望や夢について、簡単な語句や文を用いて情報を即興でやりとりができる。 ③ 互いをよく知るために、簡単な語句や文を用いて即興でのコミュニケーションに取り組むことができる。
	Unit 4	Friends in New Zealand ニュージーランドの中学校生活	① 命令文や (What + 名詞 ～?) の文の形・意味・用法の理解をもとに、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 ② 道案内をしたり、時刻や相手の情報を知るために、簡単な語句や文を用いて即興で指示や助言をしたり、やりとりができる。 ③ 簡単な語句や文を用いて即興でのコミュニケーションに取り組むことができる。
	Unit 5	A Japanese Summer Festival 夏祭りの思い出	① 前置詞, like (enjoy) ～ing, be good at ～ing, 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 ② 物の場所を伝えたり自分を知ってもらうために、物がどこにあるのかや好きなこと、体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったりすることができる。 ③ 簡単な語句や文を用いて意欲的にコミュニケーションに取り組むことができる。

	Stage Activity 1	“ All about Me ” Poster	<p>① Unit5 までの学習事項を用いて、自分が好きなことについて、読んだ内容を参考に情報を整理し、つながりのある文章を書く技能を身につけることができる。</p> <p>② 自分を知ってもらうために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書き、互いに読んで感想を伝え合うことができる。</p> <p>③ 自分を知ってもらうために、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書くことや感想を伝え合うことに意欲的に取り組むことができる。</p>
2	Unit 6	A Speech about My Brother 兄の卓也の紹介スピーチ	<p>① 三人称単数現在形の文の形・意味・用法の理解をもとに、家族や身近な人について、伝え合う技能を身につけている。</p> <p>② 友達などのことを他の人を知ってもらうために、趣味などについてインタビューしてわかったことを整理し、まとまりのあるスピーチをしたり紹介文を書くことができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 7	Foreign Artists in Japan 日本に暮らす外国人アーティスト	<p>① 代名詞や疑問詞 which, whose などを用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、コミュニケーションを行う技能を身につけている。</p> <p>② 人や文化、言葉や食べ物などについて知るために、情報を聞いたり読んだりして整理し、簡単な語句や文を用いて、やりとりをしたり書いたりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 8	A Surprise Party サプライズ誕生日パーティー	<p>① 現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解でき、活用して感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につけることができる。</p> <p>② 現在の状況を知るために、人が今していることや、感動や驚きの気持ちを伝え合うことができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 9	Think Globally, Act Locally 国際支援、水問題	<p>① 不定詞（名詞的用法）や（look+形容詞）を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、したいことやする必要のあること、人や物の様子についての話し手の視覚的な判断について、伝え合う技能を身につけることができる。</p> <p>② 世界や地域の問題について伝えるために、自分がしたいことや人や物の様子などについて、概要を捉えたり、思いを伝え合ったり書いたりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Stage Activity 2	My Hero	<p>① Unit9 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解でき、有名人などについてたずねたり説明したりする技能を身につけることができる。</p> <p>② 好きな有名人がどんな人かを伝えるために、質問に答えたり紹介する文章を書いたりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 1 0	Winter Vacation クック先生のロンドン旅行	<p>① 一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解でき、伝え合う技能を身につけることができる。</p> <p>② 最近の出来事や冬休みの思い出などを伝え合うために、過去にしたことについて、簡単な語句や文を用いてたずね合ったり書いたりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 1 1	This Year's Memories 一年の思い出	<p>① be 動詞の過去形や There is (are) ～、過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解でき、伝え合う技能を身につけることができる。</p> <p>② 一年の思い出を伝え合ったり町の紹介をしたりするために、過去の状態や気持ち、町の施設などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Stage Activity 3	My Favorite Event This Year	<p>① Unit11 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解でき、思い出に残った学校行事について、これまでの学習事項を用いて発表する技能を身につけることができる。</p> <p>② 思い出に残った学校行事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを意識して話すことができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>

令和6年度 英語 <2年> シラバス（年間学習計画）

1 学習の目標（平成29年告示 学習指導要領 第2章 第9節 外国語 [英語] より抜粋）

- (1) 聞くこと
はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。
- (2) 読むこと
日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。（～350語程度）
- (3) 話すこと [やり取り]
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- (4) 話すこと [発表]
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- (5) 書くこと
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。（～60語程度）

2 学習の内容

学期	単元名	項目名	主な到達目標（おおむね満足できる規準:B） ①:知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度
1	Unit 0	My Spring Vacation 1年生のふり返り	① 過去形や過去進行形を用いた文、There is (are) ～、の文の形・意味・用法の理解をもとに、思い出や自分が経験したことを伝える技能を身に付けることができる。 ② 思い出を伝えるために、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Unit 1	A Trip to Singapore シンガポールへの旅行	① be going to や助動詞 will を用いた文、SVOO, SVOC の文の形・意味・用法の理解をもとに、予定や意思、予測などを伝え合ったり、名所の紹介や旅行の報告についての英文を読み取ったりする技能を身に付けることができる。 ② 互いの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知るために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりすることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Unit 2	Food Travels around the World 食文化の歴史や変化	① 接続詞 when, if that, because を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、時や条件、考えや理由などを理解したり伝えたりする技能を身に付けることができる。 ② 料理や文化について伝え合うために、好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを表現したりすることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Unit 3	My Future Job 職場体験と将来の夢	① 不定詞を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、大切だと思ふことを伝えたり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身に付けることができる。 ② 自分の将来像や夢を伝え合うために、職業について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の夢やその実現のためにしていることなどについて説明したりすることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Stage Activity 1	A Message to Myself in the Future	① Unit3 までの学習事項を用いて、互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を伝え合って整理し、未来の自分へのメッセージを書く技能を身に付けることができる。 ② 10年後の自分へのメッセージを伝えるために、互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書くことができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
2	Unit 4	Homestay in the United States ホームステイでの国際交流体験	① have to, 助動詞 must, 動名詞を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、しなければならないこと、事実や気持ちを伝え合う技能を身に付けることができる。 ② 日米の生活習慣や文化の違いを知り、共に暮らすヒントを考えるために、習慣やマナーについて書かれた文章の概要を捉えたり、アドバイスを伝えたりすることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。

Unit 5	Universal Design ユニバーサルデザインの意義	<p>① 〈疑問詞 + to〉を用いた文や〈主語 + be動詞 + 形容詞 + that〉の文の形・意味・用法の理解をもとに、使い方ややり方、確信や喜びの気持ちなどを伝え合う技能を身に付けることができる。</p> <p>② 誰もが暮らしやすい社会について考えるために、身近な物の使い方ややり方を説明したり、相手の考えや気持ち、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えたり、してみたいことを伝え合ったりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
Unit 6	Research Your Topic 好きなトピックについての調査と発表	<p>① 比較表現を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、複数のものを比べて説明する技能を身に付けることができる。</p> <p>② 調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査の結果や意見を伝え合ったりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
Stage Activity 2	Research and Presentation	<p>① Unit6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表する技能を身に付けることができる。</p> <p>② 聞き手のことを考えて分かりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表することができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
Unit 7	World Heritage Sites 世界遺産の特別な価値	<p>① 受け身の文の形・意味・用法の理解をもとに、世界遺産などについて事実などを整理し、伝える技能を身に付けることができる。</p> <p>② 世界遺産の特徴を知り、その価値について考えるために、事実などを整理し、紹介された文章の概要を捉えたり、調べたことを紹介したりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
Stage Activity 3	My Favorite Place in Our Town	<p>① Unit7 までの学習事項を用いて、自分の町のおすすめの場所について、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けることができる。</p> <p>② ALT に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴やよい点を整理して伝えたり、質問に答えたりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>

令和6年度 英語 <3年> シラバス（年間学習計画）

1 学習の目標（平成29年告示 学習指導要領 第2章 第9節 外国語 [英語] より抜粋）

- (1) 聞くこと
はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。
- (2) 読むこと
社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。（～500語程度）
- (3) 話すこと [やり取り]
社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。
- (4) 話すこと [発表]
社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。
- (5) 書くこと
社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。（～80語程度）

2 学習の内容

学期	単元名	項目名	主な到達目標（おおむね満足できる規準:B） ①:知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度
1	Unit 0	Three Interesting Facts about Languages 1・2年生のふり返り	① 受け身の文の形・意味・用法の理解をもとに、あるテーマについて書かれた文章の内容を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書きたりする技能を身に付けることができる。 ② 行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書きたりするために、世界の言語について書かれた文章の情報を読み取ることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Unit 1	Sports for Everyone 人々を結びつけるスポーツの力	① 現在完了形（経験用法）を用いた文、SVOC（C＝形容詞）、SV00（that）の文の形・意味・用法の理解をもとに、これまでの経験や人の気持ちの変化などについて、伝え合う技能を身に付けることができる。 ② 人々を結びつけるスポーツの力について理解するために、障害者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えたり、日本を楽しんでもらうために、経験に基づいて相手に合ったプランを伝えたりできる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Unit 2	Haiku in English 俳句の魅力と英語の俳句	① 現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、現在まで続いている状態や動作について伝え合う技能を身に付けることができる。 ② 日本の伝統文化の魅力を知るために、言語や文化について書かれた文章の概要を捉えたり、互いのことを知るために、好きなことや取り組んできたことについてたずね合うことができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Unit 3	Animals on the Red List 絶滅のおそれのある動物たち	① [It is ～（for＋〈人など〉＋to）] の文、[want＋〈人など〉＋to] や [let（help）＋〈人など〉＋動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法の理解し、自分たちにとって大切なことや誰かにしてほしいことについて伝え合う技能を身に付けることができる。 ② 環境問題と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、現状や自分の考えを書いたりすることができる。 ③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。
	Stage Activity 1	My Activity Report	① Unit3 までの学習事項を用いて、活動報告の構成を理解した上で、自分の経験や他の人へのメッセージを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりする技能を身に付けることができる。 ② 部活動や委員会などの活動について知ってもらうために、活動報告の構成を理解した上で、経験や他の人へのメッセージを即興で話したり、内容についてのやりとりや原稿の推

			<p>敵を通してまとまりのある文章を書いて発表したりすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
2	Unit 4	Be Prepared and Work Together 災害時の外国人支援	<p>① 間接疑問文と SV00 (what 節) の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどを伝え合ったり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身に付けることができる。</p> <p>② 防災への意識を高めるために、外国人の体験談や外国人支援について書かれた文章の要点を捉えたり、標識が何を意味しているかについて話したり書いたりできる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 5	A Legacy for Peace ガンディーの功績と受け継がれる 理念	<p>① 名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身に付けることができる。</p> <p>② 平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、あこがれの人物を紹介したりできる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Stage Activity 2	Discover Japan	<p>① Unit5 までの学習事項を用いて、日本や郷土の文化について書かれた文章を参考にしながらやりとりすることなどを通して、詳しい情報を加えて紹介文を書く技能を身に付けることができる。</p> <p>② 日本を訪れる人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化について書かれた文章を読んだり質問し合ったりして、詳しい情報を加えながらまとまりのある文章を書いて紹介できる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Unit 6	Beyond Borders 国をこえて助け合う大切さ	<p>① 仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法の理解をもとに、現実とは異なる願い事や架空の話などを伝える技能を身に付けることができる。</p> <p>② 国を越えて助け合う大切さを理解するために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりできる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>
	Stage Activity 3	Let's Have a Mini Debate	<p>① Unit6 までの学習事項を用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にしながら、意見を伝え合う技能を身に付けることができる。</p> <p>② 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をすることができる。</p> <p>③ ②の活動に意欲的に取り組むことができる。</p>